

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 2 年 6 月 26 日

宮崎県知事 殿



提出者 宮崎県都城市高木町4734番地1
 住所 株式会社 内戸保住建
 代表取締役 内戸保 浩
 氏名 TEL 0986-38-2664

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0986-38-2664

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

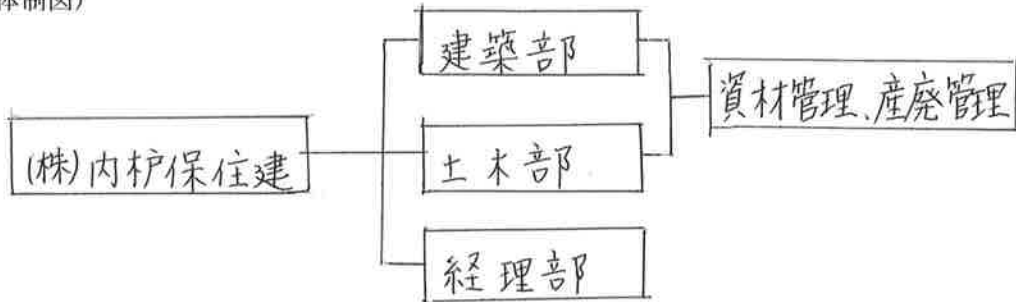
事業場の名称	株式会社 内戸保住建
事業場の所在地	都城市高木町 4734-1
計画期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	建築土木工事
② 事業の規模	約10億
③ 従業員数	18名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	紙くず → 焼却 木くず → 中間処理(石破碎)管理型埋立、焼却、有価物として売却 廃プラスチック類 → 安定型埋立、管理型埋立、中間処理(焼却) がれき類 → 安定型埋立、石破碎 ガラス・コンクリート・陶磁器くず → 中間処理(石破碎)、管理型埋立、安定型埋立 金属くず → 安定型埋立 繊維くず → 管理型埋立 コンクリートがら、アスコンがら → 石破碎

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (令和元 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙①	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) 産廃の分別の仕方について定期的に教育を行っており、種類ごとにボックスや袋に分別して処理業者に持ち込みしている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後も会社及び現場関係者全体で産廃について意識を高め分別を徹底する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 種類ごとにボックス、袋を設置している。 捨場に注意の為の札を取り付けている。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 定期的に講習を行い一人一人の意識を高める。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙②	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
種類ごとにその処理に適した産廃業者に委託している。			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
委託基準に従って委託できる業者を選定し 書面による契約を行う。			
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

請
ま

別紙①

種 類	排出量
木くず	43.53t
紙くず	0.15t
がれき類	688.4t
廃プラスチック類	108.34t
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	139.835t
混合	0.9t
コンクリートがら	4.56t
アスコンがら	0.7t
繊維くず	0.6t

別紙②

種 類	委託量
木くず	43.53t
紙くず	0.15t
がれき類	688.4t
廃プラスチック類	108.34t
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	139.835t
混合	0.9t
コンクリートがら	4.56t
アスコンがら	0.7t
繊維くず	0.6t